

## 広島県 呉圏域 総合水産基盤整備事業計画（R4～R8）

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当該圏域は、広島県沿岸部の西部から中部に位置する呉市のみで構成され、圏域内には14漁協が存在し、生産額ベースではカキ養殖業とイワシ船びき網漁業が主体である。

圏域の東部に位置する豊島地区では、釣・延縄でのマダイやタチウオの漁獲が多く、漁船漁業の中核的生産を担っている。圏域のほぼ中央に位置する下蒲刈・蒲刈地区では、小規模ながら多様な海面漁業が営まれている。また、圏域西部にある呉港には呉市地方卸売市場があり、水産物の水揚げ及び集積の拠点として機能しているほか、音戸漁港及び倉橋漁港はカキ養殖業の中核を担っている。

##### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当該圏域で主に営まれている漁業種類はカキ養殖、イワシ船びき網、小型底びき網、刺し網及び釣等であり、市町別統計値が公表されている H30 年度農林水産統計では、生産量は海面漁業 2,269 トン、海面養殖業 24,832 トンである。主要な魚種別ではカキ（養殖・殻付き）が 24,633 トンで市町村別生産量としては国内トップクラスであるほか、海藻類 313 トン、タイ類 166 トン、タチウオ 100 トン、エビ類 64 トン等となっている。

また、漁業者が主体となってマダイ、ヒラメ、オニオコゼ、キジハタ、カサゴ、ガザミ、ヨシエビ等の種苗を放流し、放流場所の保護や小型魚の再放流に取り組んでいる。

##### ③ 水産物の流通・加工の状況

カキ及びイワシは、生産者自らが有する加工場に直接水揚げし、それぞれむき身加工又は煮干加工を行っている。その後、むき身カキについては一般的に仲買業者を通じて全国の市場、小売店若しくは加工業者へ流通し、煮干しやチリメンは県漁連の共販又は食品加工・流通業者等へ出荷している。鮮魚類の多くは、呉市地方卸売市場又は広島市中央卸売市場へ出荷されている。なお、漁業協同組合が運営するものでは、卸売市場（1か所）が地元の食卓を支えているほか、タチウオの共同出荷拠点（1か所）では関西方面への共同出荷により産地としての認知度を向上させている。

#### 【代表的な加工品】

##### (1) 音戸チリメン、倉橋チリメン

主に音戸・倉橋地区で漁獲されるカタクチイワシを新鮮なうちに塩茹で・乾

燥させたもので、県内に広く流通しているほか、県外のアンテナショップ等でも県産品として販売されている。

(2) タチウオ一本釣り・豊島一夜干し

呉豊島漁協の組合員が釣りで漁獲したタチウオは「豊島タチウオ」としてGI登録されており、一夜干しにした製品が主に呉豊島漁協で直売されている。

(3) 藻類加工品

ワカメやヒジキ等の藻類を生産者が素干し又は塩蔵品に加工しているほか、地元企業と共同開発した炊込飯の素等としても販売されている。

#### ④養殖業の状況

当該圏域で主に営まれている養殖業はカキ養殖業であり、カキ養殖を内容とする区画漁業権 75 件が免許されている。養殖用のカキ種苗は3倍体等の一部を除き天然採苗であり、主に江田島市大黒神島沖等、圏域内外の広範な海域で生産者自ら採苗を行っている。採苗後、杭打垂下式漁場(34件)で干出させながら数カ月間種苗を育成し、その後筏垂下式漁場(41件)で1～3年の養殖期間を経て出荷される。

カキ生産者のほとんどが自らむき身加工を行っており、むき身カキは仲買業者を通じて小売業者へ出荷され生鮮で販売されるほか、加工業者により冷凍カキや蒸しカキ、フライ等に加工され、圏域を超えた国内外に流通している。

#### ⑤漁業経営体、漁業就業者(組合員等)の状況

海面漁業・養殖業の経営体数は616で、小型底びき網89、刺し網75、ひき縄釣26、船びき網14、延縄14、養殖67などとなっており、多くが零細規模で営まれている。前回計画時(2013年)と比べて13パーセント(▲93経営体)減少しており、今後も漁業経営体の減少傾向が続くと考えられる。

#### ⑥水産業の発展のための取り組み

##### 【水産資源の増大】

圏域内の造成藻場を含む適地に、漁業者が主体となってキジハタ、オニオコゼ、ガザミ等の種苗を放流するとともに、放流場所の保護や小型魚の再放流を行って資源の維持回復に取り組んでいる。

##### 【担い手の確保・育成】

広島県新規漁業就業者支援協議会が実施する研修に協力するほか、圏域内の14漁協で構成する呉漁業協同組合連絡協議会でも呉市と連携して独自の漁業研修や体験事業を実施し、就業希望者を受け入れている。

##### 【瀬戸内の地魚のブランド化】

当該圏域を構成する呉市では、「呉市のカタチ(カキ、タチウオ、チリメン)」を

広くPRしており、カキでは圏域内で最大級の事業者がMSC認証の審査中、タチウオは令和元年に呉豊島地区がGI登録を果たす等の取組みが進んでいる。

#### ⑦水産基盤整備に関する課題

- ・漁港施設の機能を健全に維持するため、引き続き、施設の長寿命化に向けた取組みの推進や、更新コストの平準化・縮減等を検討する必要がある。
- ・しかし、呉市管理の3漁港は小規模漁港のため、水産物供給基盤機能保全事業の採択要件を満たしておらず、単独費による対応では財政負担が大きい。
- ・当該海域では、藻場を形成する岩盤域が少ない上、本土部沿岸域を中心に、浅海域の環境悪化により藻場が衰退しており、重要魚種であるキジハタ等の仔稚魚期の生息環境が整っていない。
- ・近年頻発する局所的な大雨災害等の影響により、海域に流出した流木等が海底に堆積しており、底生性魚類等の生息環境が悪化している。
- ・かき養殖では、近年、採苗不調による生産の不安定化や、海水温の上昇によるへい死、生育不良が発生しているため、漁場環境を迅速に把握し、得られたデータを蓄積・活用する養殖体制の確立が求められている。

#### ⑧将来的な漁港機能の集約化

- ・今後、漁港施設の統合や廃止、同一漁港内での機能再編の実施は予定していない。
- ・集・出荷機能としては、従来どおり港湾拠点の呉港に水産物を集約する。

#### (2)圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由； カキ養殖が中心であるが、その他の漁獲物の多くは、呉中央卸売市場を有する呉港に集約される。
② 圏域範囲	呉市	設定理由； 拠点港である呉港への水産物の集約が及ぶ範囲である。
③ 流通拠点 漁港	「該当なし」 (呉港)	設定理由；該当なし

④ 生産拠点 漁港	豊島漁港	<p>設定理由；</p> <p>利用漁船数 174 隻, 属地陸揚金額 2.5 億円。</p> <p>漁港利用漁業者の多くが釣り漁業に従事し, その主要な魚種である「豊島タチウオ」のブランド化を始め, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p>
	音戸漁港	<p>設定理由；</p> <p>利用漁船数 83 隻, 属地陸揚金額 9.9 億円。</p> <p>漁船漁業及びかき養殖が盛んで養殖県内第 2 位の陸揚量を誇り, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p> <p>また, 「音戸かき」「音戸ちりめん」のブランド化を始め, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p>
	倉橋漁港	<p>設定理由；</p> <p>利用漁船数 304 隻, 属地陸揚金額 18.2 億円。</p> <p>県内で最大級の漁港区域を有しており, 漁船漁業及びかき養殖が盛んで養殖県内第 3 位の陸揚量を誇り, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p>
⑤ 輸出 拠点漁港	音戸漁港	<p>設定理由；</p> <p>陸揚量 6,806 t, 栽培養殖魚種 6,685 t。</p> <p>漁船漁業及びかき養殖が盛んで養殖県内第 2 位の陸揚量を誇り, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p> <p>また, 「音戸かき」「音戸ちりめん」のブランド化を始め, 今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p>

	倉橋漁港	設定理由； 陸揚量 7,366 t，栽培養殖魚種 5,859 t。 県内で最大級の漁港区域を有しており，漁船漁業及びかき養殖が盛んで養殖県内第3位の陸揚量を誇り，今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。
--	------	---

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(t)	21,438	圏域の登録漁船隻数(隻)	701
圏域の総漁港数	10	圏域内で該当する漁港数	—
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1	圏域内での輸出取扱量(t)	—

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	呉 設定理由；1地域で同一魚種を大規模に養殖生産しているため。
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	かき
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	18,078 トン(殻付き)
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	3,355 百万円

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1)産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

当圏域においては，かき養殖の生産量が全国第1位であり，生産の約6割を冷凍かき等の加工用が占めている。一方で，約4割の生鮮用は国内市場が縮小傾向にあり，広島かきとしてのブランド力を高める必要がある。また，生産拠点漁港である音戸漁港及び倉橋漁港で陸揚されたかき，豊島漁港で陸揚されたタチウオは陸上輸送により呉港背後にある呉市地方卸売市場に集約されて出荷されている。生食用殻付きかきについては，海外需要の拡大が見込まれており，国内需要にも対応しつつ，輸出量を増加させるには，生産性の安定化が必要不可欠である。また，かき以外の水産物についても，流通拠点である呉市地方卸売市場に安定して水産物を供給できる体制の構築が必要である。

そのため，養殖場や水産加工場と密接に関連している漁港施設や就労環境改善に資

する外郭施設等を一体的に整備，機能を強化することにより，水産物の安定供給体制の構築をさせ，更なる拠点の機能強化を図る。

## ②養殖生産拠点の形成

当圏域でかきが陸揚される大屋漁港，音戸漁港，田原漁港，倉橋漁港，長谷漁港においては，背後地にある加工場への陸揚や養殖漁場での養殖作業に支障が出ないよう，港内静穏度を確保するための防波堤整備，かき養殖漁船の係留に対する安全性・利便性を確保するための浮棧橋整備，既存の漁港施設を継続的に発揮していくための機能保全を効率的に取り組む。

また，漁場基盤については，近年採苗不調やへい死等により生産が不安定化しているため，かき養殖に必要な漁場環境データや生産情報等を集積・活用するシステムを構築し，広島かきの生産安定化を図る。

## (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

### ①環境変化に適応した漁場生産力の強化

藻場・干潟の減少等の環境悪化により，現状の資源量は少なくなっていると考えられることから，自然増加量も小さくなっていることが推察され，これに伴い漁獲量も減少している。

そのため，放流効果が高い地先定着型魚種であるオニオコゼ，キジハタ等を継続的に放流するとともに，稚魚の育成場となる増殖場（藻場）の整備や，海底の堆積物除去による底質改善によって，生息適地の拡大や改善，餌料環境の改善を行う。藻場のモニタリングについては，増殖場の整備海域や本圏域を含む県内全海域を対象に適時実施し，実施結果を踏まえ，県，市町，漁業関係団体，教育・研究機関等の関係機関で評価・検証し，効果的な藻場保全に取り組む。

また，改正漁業法に基づく新たな資源管理体制へと速やかに移行させ，実効性の高い資源管理を推進し，資源の増大を図る。

### ②災害リスクへの対応力強化

耐震・耐津波に対する機能診断については，平成27年度までに拠点漁港について完了している。当該圏域では，生産拠点漁港の豊島漁港及び輸出拠点漁港の音戸漁港，倉橋漁港における主要岸壁については，所要の設計震度（レベル1地震動）は満足していないが，変形照査（FLIP）において，全て許容基準値を満たしているため，当面の整備における緊急性は低いと考えるが，漁港施設の利用実態を鑑み，必要に応じて検討を行う。

田原漁港，長谷漁港及び情島漁港については，持続可能なインフラ管理を推進するためライフサイクルコストの低減を図る機能保全計画の見直しを実施し，予防保全型の老朽化対策への転換を図る。

### (3) 「海業」<sup>うみぎょう</sup> 振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「海業」<sup>うみぎょう</sup> による漁村の活性化

倉橋漁港は日本の渚・百選にも選ばれた桂浜を有し、近隣には温泉施設があり、くらはし海の駅に指定されているなど観光資源に優れた地域であるが、プレジャーボートを係留できる施設が少なく、海上からのアプローチが少ないことが課題となっており、地域活性化を目的にビジターバース棧橋を新設することが必要となっている。

#### ② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

瀬戸内の干満差が激しい岸壁を利用して漁船への乗降している施設も多くあり、女性や高齢者にとって安全で働きやすい環境となっていないため、浮体式係船岸の整備等により就労環境の改善が必要となっている。

島しょ部の一つである音戸町田原地区では、人口減少が進み、水産業や地域の賑わいが低下している。その要因の一つとして、污水处理施設整備の遅れがあり、快適な生活環境の整備が必要となっている。

### 3. 目標達成のための具体的な施策

#### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

##### ① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
倉橋漁港 本浦地区 室尾地区	輸出促進	地方創生 港整備推 進交付金	倉橋漁港	2種	倉橋漁港

##### ・具体的施策

倉橋漁港は県内で最大級の漁港区域を有しており、かき養殖、漁船漁業が盛んな地域で、漁業者を中心とした生産拠点として、輸出拠点漁港として位置付けている。

当地区のかき養殖生産量を増加させるためには港内静穏度の確保が必要となるため、静穏度確保を目的に防波堤の整備を実施する。

##### ② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
—	養殖拠点	県単独事業	—	—	—

##### ・具体的施策

広島湾を中心とした本県かき養殖海域において、水温・餌料センサーを設置し、汎用クラウドを利用したデータの蓄積、生産者が入出力可能なアプリ開発を合わせて行い、かき養殖に必要な漁場環境データを収集・活用するシステム整備を行う。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
中西部・備後燧地区	藻場・干潟	水産環境整備事業

・具体的施策

沿岸域の環境悪化により藻場が衰退している海域において、キジハタ等重要魚種の生息環境を改善させるため、マスタープラン及び藻場ビジョンに基づき、対象魚種の生活史や藻場の分布特性を考慮した、着定基質（藻場礁、餌料培養礁）を行い、ガラモ場造成を行う。整備後のモニタリングを実施し、適切に維持管理することで、実効性の高い藻場保全・創造対策を行う。また、海底の堆積物除去を行い、重要漁場の底質改善を図る。

これに加え、漁業者主体の資源管理の推進や、整備施設を活用した種苗放流を行い、水産資源の底上げを目指す。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
田原・長谷・情島	予防保全	漁港機能増進事業	田原漁港・長谷漁港・情島漁港	1種	呉港

・具体的施策

田原漁港等はかき養殖が盛んな漁港となっているが、機能保全計画を策定してから約8年経過しているため、詳細点検の結果により補修計画を作成し、早期に補修を行うことで未然に施設災害を防止し、ライフサイクルコストの低減を図るべく、機能保全計画の見直しを実施する。

(3) 「<sup>うみぎょう</sup>海業」振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「<sup>うみぎょう</sup>海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
倉橋漁港本浦地区	地域活性化	地方創生港整備推進交付金	倉橋漁港	2種	倉橋漁港

・具体的施策

倉橋漁港は県内で最大級の漁港区域を有しており、かき養殖、漁船漁業が盛んな地域で、漁業者を中心とした生産拠点となっている。

当地区には日本の渚・百選にも選ばれた桂浜を有し、近隣には温泉施設があり、くらはし海の駅に指定されている。観光資源に優れた当地区を最大限に活かすために、



不足しているデジタルバース桟橋を新設することで、交流人口を増加し地域の活性化に取り組む。

## ②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
音戸漁港 鰯浜地区	就労環境	地方創生 港整備推 進交付金	音戸漁港	2種	音戸漁港

### ・具体的施策

音戸漁港はかき養殖、漁船漁業が盛んな地域で、音戸カキ、音戸ちりめんのブランド化に成功しており、漁業者を中心とした生産拠点となっている。

現状の浮桟橋は乾舷が高いため、高齢化が進行している当漁港の漁業従事者には厳しい環境を強いられているため、浮桟橋を改良することで利用者が安全で働きやすい環境を整備する。

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
田原	生活環境	水産基盤 整備事業 (漁村整 備)	田原漁港	1種	呉港

### ・具体的施策

污水处理施設整備の遅れ等により人口減少が進み、水産業や地域の賑わいが低下しているため、漁業集落排水施設を整備することで住生活環境を改善させ、定住・移住の促進及び水産業の担い手確保に取り組む。

## 4. 環境への配慮事項

### ①沿岸域環境の現状

圏域のうち島嶼部や圏域東部では自然海岸と藻場・干潟は比較的残っているところはあるが、都市に近くなるほど少なく、沿岸環境が悪化している。

### ②特に留意する必要がある自然環境の有無

安浦地区など圏域東部は一部に大規模な藻場（アマモ）が現存し、これら既存の藻場を損なわないような配慮が必要。

### ③整備により予測される環境への負荷の程度

工事に伴う濁りの影響については、汚濁防止膜の展張等により周辺環境に与える影響は必要最小限にとどめる。

### ④悪化した自然環境を改善するための取組

海底環境の改善を図るため、海底に堆積した流木等の堆積物の除去を行う。

⑤リサイクル材の活用

人工礁の機種選定にあたっては、かき殻などのリサイクル材を活用したものを積極的に採用する。

5. 水産物流通圏域図



# 広島県(呉圏域) 水産物流通圏域図

